

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月28日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機 残留熱除去系熱交換器(A)の海水側出口配管の1次水抜き弁および2次水抜き弁のシート漏えい※について】</p> <p>当直員がパトロールにて、6号機 残留熱除去系熱交換器(A)の海水側出口配管の系統水抜き配管端部から水(海水)が排水口に滴下していることを確認。</p> <p>調査の結果、当該系統水抜き配管の1次水抜き弁および2次水抜き弁のシート漏えいと判断。</p> <p>シート漏えい量は微量であり、系統機能に影響なし。</p> <p>今後、1次水抜き弁および2次水抜き弁を点検、修理予定。</p> <p>※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	4月22日
2	<p>【陸側遮水壁設備ブライン供給ポンプ(2B-1)の軸受摩耗警報の発生について】</p> <p>当直員が免震重要棟監視室の陸側遮水壁監視用端末に陸側遮水壁設備(2系)ブライン供給ポンプ(2B-1)の軸受摩耗を知らせる警報の発生を確認。</p> <p>当該ポンプの軸受けの不良と判断し、当該ポンプを停止。</p> <p>陸側遮水壁設備(2系)は、ブライン供給ポンプを3台で運転しており、系統機能に影響なし。</p> <p>今後、現場確認、原因調査後、処置を検討予定。</p>	GⅢ	4月23日
3	<p>【陸側遮水壁設備(1系)ブライン※浄化装置のフィルタ(C)からのブラインの滴下について】</p> <p>当直員がパトロールにて、陸側遮水壁設備(1系)ブライン浄化装置のフィルタ(C)本体下部より、ブラインの滴下を確認。</p> <p>ブライン浄化ポンプを停止し、滴下が止まったことを確認。</p> <p>フィルタ(C)を隔離しても、他に2基のフィルタがあるため、運転に影響なし。</p> <p>今後、漏えい箇所を特定後、処置を検討予定。</p> <p>※ブライン : 陸側遮水壁を形成するために凍結管に循環させる冷媒</p>	GⅢ	4月22日
4	<p>【1号機原子炉建屋カバー(残置部)解体工事における柱鋼材溶断作業での協力企業作業員の負傷について】</p> <p>1号機原子炉建屋カバー(残置部)解体工事において、火気作業エリアで行っている柱鋼材溶断作業場所の近傍にいた協力企業作業員が飛んできた火花により、首元左側後方にやけどを負った。</p> <p>溶断作業員は、資機材受け渡しを行なった当該作業員(被災者)が火気作業エリアから退域したのと思い込み、溶断作業を開始したため、溶断時に飛んだ火花が、退域しようとした当該作業員に当たったもの。</p> <p>救急医療室にて、左後頸部熱傷と診断を受け、治療を受けた。</p> <p>今後、再発防止策を検討予定。</p>	GⅢ	4月23日